



JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、組合員、地域から「必要とされ、なくてはならない存在」となることを目指し、さまざまな取り組みを展開しています。

多業を拓く協同組合

JAと農業

監修=JCA
(日本協同組合連携機構)

第19回

世界とともに目指す「SDGs」

国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」という言葉が、世界中で注目を集めています。「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」など17の目標が掲げられており、この目標を達成するために各国政府はもちろん、民間の企業や団体の参加と貢献が期待されています。協同組合も達成に当たり役割を果たすべき民間セクターの一つとして明記されており、国際協同組合同盟(ICA)は目標達成に向けた貢献を約束しています。

日本の協同組合でも、例えば日本生協連が「コープSDGs行動宣言」を採択し行動をすすめるなど、SDGsへの取り組みが動き出しています。JA全国女性協も「第65回通常総会の特別決議」の中でSDGsに取り組むことを決定しています。持続可能な社会の実現に当たっては、食料輸入による環境負荷や食品ロスなど、食や農に関連する課題も多く残されています。JAも地域社会の課題解決に努めるとともに、SDGsの達成へ貢献していきます。

語句解説

エスディージーズ

【持続可能な開発目標(SDGs)】

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されており、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、17の目標と関連する169の具体的なターゲットが定められています。発展途上国を対象にしたミレニアム開発目標(MDGs)を引き継ぐもので、先進国も含め取り組むこととされています。

SDGsの17の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



耕そう、大地と地域のmiraい。
(JA広報通信より)

JA広島市の自己改革

活動を通してSDGsを実践 レディースクラブトップ研修会

JA広島市レディースクラブは、8月30日に、各支部の支部長、本部役員やJA広島市の女性理事、女性総代を対象とした「トップ研修会」を本店で開きました。

研修会では、武庫川女子大学教育学部の藤本勇二准教授を講師に迎え、「JA女性部活動の今日的意義～SDGsの視点から」と題した講演を61人が聴講しました。

藤本准教授は、教育に携わる立場から、自身が小学校などで行った食育の授業などの事例を挙げながら、教育とSDGsとの関わりについて説明。農業や自然環境、地域の継続を大切にするJAの考えがSDGsの取り組みと合致していると、「学校教育への参画、食文化の継承、食品ロスや地産地消など今日的な食課題の解決を通して、レディースクラブのみなさんの知恵を子どもたちに伝えてほしい」と話しました。

また、レディースクラブの酒井絹枝会長は「レディースクラブの重点活動項目はSDGsと通じるものがある。活動を通してSDGsを実践していこう」と呼びかけました。



藤本准教授と受講者で楽しく対話をしながら講義は進みました